

山行報告書

山行管理部

公開山行 石楠花山 1月22日

CL豊村 SL重岡、滝川 参加16名（内一般1名）

神戸市営谷上駅（午前9時集合）→ 登山口（体操）9:30 → 五差路10:45 → 石楠花山11:06 → 展望台11:15（昼食・クラブ紹介）11:55 → 西六甲ドライブウェイ12:15 → 徳川道出会12:40 → 森林植物園東門13:03 → 植物園正門13:30 → 谷上駅14:40

コースタイム5時間10分（内休憩時間1時間27分） 距離9.1km

登り544m/下り578m（累積）

登山道入口前で体操をして各自服装を整えて出発。炭ヶ谷道を登り石楠花山を目指す。入り口付近は竹林で緩やかな登り、やがて阪神高速道路の高架下を通過し本格的な登りとなる。

石楠花山手前の五差路は、道標はあるものの迷いやすいので要注意。地図で確認して進む方がよい。また石楠花山山頂への道の入口もブッシュに隠れ見逃してしまうので注意が必要。頂上は展望も、これといった特徴もないので、すぐに来た道を引き返し展望台へ。

展望台では天気が良かったこともあり、淡路島が手に取るように真近に見ることができた。展望台で少し早めの昼食を取り、最近入会された方や体験参加のかたにクラブ紹介をし、各部からの連絡がされた。

昼食後は黄蓮谷沿いの尾根を通り、森林植物園内を通過し山田道を下り、全員元気に谷上駅に到着した。天候に恵まれ、それほど寒さを感じることもなく、充実したハイキングとなった。（滝川 記）

サロン 奈良、春日大社、東大寺周辺の散策 2月4日

CL宇野 SL島田 参加者 14名

近鉄奈良駅9:50 → 興福寺10:00 → ゆうか山園10:50 → 吉城園11:50 → 12:10（昼食）→ 春日大社13:50 → 二月堂14:30 → 大湯屋14:50 → 解散15:20

穏やかな日に恵まれ、神社、仏閣を見学しました。二つの庭園は、繊細で気持ち良く回遊出来ました。所に依っては、史跡が整備されて来てるのが残念に思ったりもしました。



(宇野 記)

自然保護部 百舌鳥古墳群探鳥会 2月5日(日)

C L井 S L目加田 参加9人

J R百舌鳥駅(集合)～御廟山古墳～いたすけ古墳～都市緑化センター(昼食)～履中天皇陵～大仙公園～仁徳天皇陵～J R百舌鳥駅(解散)

最初の御廟山古墳で、探鳥開始前に左右視力補正、眼幅補正など双眼鏡の使用法を確認しました。この古墳の外堀池ではいきなり、ミコアイサ♀♂が10羽程度見られました。間近に真っ白なミコアイサ♂を多数一度に見ることが出来たのは、C L、S Lともに初めての貴重な経験でした。オオバンやカルガモ、カイツブリなど双眼鏡無しで目の前で見ることが出来ました。池端で枝木にノスリを、上空にはハイタカが飛ぶのを見ることが出来ました。コサギは足指が黄色、嘴は黒色、ダイサギは嘴が黄色などサギ科の野鳥の識別の仕方を学びました。ここでは、他にコサギ、アオサギ、カモ科でコガモや更にマガモ×カルガモの交雑種1などを見ました。

次のいたすけ古墳では、樹木が刈られていたせいか、ほとんど野鳥が居なくあきらめかけたところ、カワセミを見ることが出来ました。

履中天皇陵ではマガモの群を池畔の木陰に見ることが出来ました。拡大された、望遠鏡で見る頭部の金属光沢の緑色の美しさに、感嘆の聲が上がりました。猛禽のトビが上空を舞いました。

大仙公園ではキセキレイやモズなどを見ました。仁徳天皇陵の堀では、カメラマンがカワセミを待っていましたが、飛翔した後とのこと見ることが出来ませんでした。

この頃、出現記録のあったオシドリが見られなかったこと、又、大仙公園で期待した小鳥達があまり樹林内で見られなかったのが残念でした。後半には双眼鏡の扱

いに慣れられた参加者の方々が、野鳥図鑑を調べたり積極的に探鳥されていました。

一日中おだやかな日和の中、仁徳天皇陵そばの小公園にて出現種数 25 と鳥合わせをし、探鳥会を終え、J R 百舌鳥駅で解散しました。

(井 記)

土曜山行 余呉湖周回コース 2023年2月11日 晴れ

C L湯浅、S L松本、乾 参加 12名

タイム 6:00 距離 12.5km 累積標高 +729m

余呉駅 9:40→賤ヶ岳登山口 9:48→大岩山 10:25→賤ヶ岳 11:30 (昼食) →
高法寺山 12:40→大平良山 13:15→権現峠 13:55→神明山 14:50→
鳥撃坂峠 15:10→余呉駅 15:40 (解散)

2月に余呉湖を取り巻く山々を歩くので、かなりの積雪を期待して軽アイゼンなどを持って行ったものの出番はなし。昨日の雨と打って変わっての晴天で小春日和。



賤ヶ岳山頂で、余呉湖、琵琶湖、雪を被った伊吹山、横山岳や高島トレイルの山々を見ながらの昼食。後半は、雪が多い尾根沿いのアップダウンの登山道。テープが分りにくい箇所があったり、滑りやすい急下降があったり、気を抜けないコースでした。鹿の頭、背骨、脇腹の骨を見つけて草食動物の頭の特徴を教えてもらうなど、あれこれ話しながらの、のんびりした山行でした。

(湯浅 記)

ウィークデイ 伏見稲荷～清水山 2月15日 CL 早川・SL 黄 参加 12名

伏見稲荷大社 (体操) 9:40～泉涌寺 10:45～清水山 (昼食) 12:10～12:35
東山山頂公園～13:10～知恩院 13:45 (解散)

京阪の車窓から時に横なぐりの雪になり、集合場所で、防寒着の上に雨具を装着。予想通り四つ辻まで、観光客や学生が集中、一列縦隊で、途中、鳥居の外側に出るなどして、立ち休憩を取り、ゆっくりのぼる。以後雪は止むものの、寒い。

清水山登山口あたりから雪景色になり山頂で各自暖かい昼食を取る。

体温低下防止のため早々に出発。東山山頂公園では、東の間の陽射しの中コーヒープレイク。緋寒桜に元気を貰う。知恩院の大鐘楼に到着ほっとする。

予期せず近くの梅園では紅梅・白梅が満開、香りを楽しみました。(早川 記)

有志山行 八が岳 報告書 2月6日(月)～8日(水) CL 乾 参加者7名

2/6 JR 茅野駅集合→タクシー→渋の湯温泉 (泊)

2/7 渋の湯 8:00→賽の河原→10:00 高見石小屋 10:25→10:45 白駒池 11:40→

12:10 高見石小屋→13:35 中山→中山峠 14:10→黒百合ヒュッテ 14:15 着 (泊)

2/8 黒百合ヒュッテ 7:00→7:10 中山峠→8:30 しらびそ小屋 8:50→稲子湯 10:00

稲子湯 12:00→タクシー→JR 松原湖→塩尻→JR 名古屋解散

2/6：渋の湯温泉は信州割スペシャルで宿泊料金は2割引、平日なので2000円のクーポンがもらえた。

2/7：ゆっくり朝食をとり宿の前から即、アイゼンを装着して出発。登山道はしっかりトレースがあり、以後一度もワカンの出番はなかった。高見石小屋の横の高見石に登ると360度の展望が望め、これから行く白駒池もしっかり雪で覆われているのが見えた。氷の上か雪原かわからない白駒池では出番のないワカンを付けて楽しんだ。中山展望台では西天狗と東天狗の姿がすぐ近くに。黒百合ヒュッテでは夜の寒さを心配したが、1階で暖められた空気が2階に上がってきて寒さの心配はなく快適に眠ることが出来た。

2/8：この日は稲子湯を目指して下るだけ。だがヒュッテを出発してすぐこの山行で1番の難所、中山峠からの激下りがある。前日この場所を通った際に確認したがかなりの急坂！クサリはあったが雪に埋もれ使えない状態だった。トップが1歩1歩雪を踏み固め足場を作って進んでくれ、その後を忠実に1歩ずつ進む。標高にして70～80m位の下りだが、急斜面のうえ木も岩も何もつかむものがなく緊張はマックス！最大の難所を下り終えた後は太ももが悲鳴をあげていた。この地帯は岩稜帯との標識があった。雪のない時期はどんな感じかなと思った。その後は快適な下り。しらびそ小屋では餌場があり、たくさんの鳥と餌を頬張るリスを見つけたので写真におさめようと必死になった。最後に稲子湯で温泉につかり帰路についた。事前の天気予報はあまり良くなかったが、3日間通して晴れて風も無く雪山を満喫した。
(願野 記)

